

2015年3月期 上半期決算説明会

おいしさ、ふれあい。
フコ。リマム

2014年12月1日

目 次

I.2015年3月期 上半期業績総括 (P. 2~P.12)

II.2015年3月期 業績見通し (P.13~P.18)

III.ご参考資料 (P.19~P.27)

2015年3月期 上半期業績総括

1.2015年3月期 上半期業績

【連結損益】

	2014年3月期	2015年3月期	売上高比	前期比	計画比	上半期計画
売上高	147,536	163,549	100.0%	110.9%	108.3%	151,000
営業利益	4,047	3,676	2.2%	90.8%	96.7%	3,800
経常利益	4,467	4,064	2.5%	91.0%	101.6%	4,000
税金等調整前当期純利益	3,799	4,044	2.5%	106.4%	112.3%	3,600
当期純利益	1,488	2,188	1.3%	147.1%	128.7%	1,700

【セグメント別損益】

(百万円)

	2014年3月期	2015年3月期	売上高比	前期比差
売上高				
加工食品事業本部	97,891	109,872	-	112.2%
食肉事業本部	49,493	53,548	-	108.2%
その他	151	128	-	84.8%
営業利益				
加工食品事業本部	4,107	3,002	2.7%	▲ 1,105
食肉事業本部	▲ 53	720	1.3%	773
その他	▲ 6	▲ 45	-	▲ 39

【個別損益】

(百万円)

	2014年3月期	2015年3月期	売上高比	前期比
売上高	108,112	122,399	100.0%	113.2%
営業利益	1,253	3,219	2.6%	256.9%
経常利益	1,764	3,753	3.1%	212.8%
税引前当期純利益	1,019	3,769	3.1%	369.9%
当期純利益	612	2,255	1.8%	368.5%

1.2015年3月期 上半期業績2

【連結損益】

(百万円)

科 目	2014年3月期		2015年3月期		
	実績	売上比	実績	売上比	前期比
売上高	147,536	100.0%	163,549	100.0%	110.9%
加工食品事業本部	97,891	66.4%	109,872	67.2%	112.2%
食肉事業本部	49,493	33.5%	53,548	32.7%	108.2%
その他	151	0.1%	128	0.1%	-
売上原価	124,437	84.3%	139,724	85.4%	112.3%
売上総利益	23,099	15.7%	23,824	14.6%	103.1%
販管費	19,051	12.9%	20,148	12.3%	105.8%
営業利益	4,047	2.7%	3,676	2.2%	90.8%
営業外収益	619	-	596	-	-
営業外費用	199	-	208	-	-
経常利益	4,467	3.0%	4,064	2.5%	91.0%
特別利益	136	-	276	-	-
特別損失	803	-	296	-	-
税金等調整前当期純利益	3,799	2.6%	4,044	2.5%	106.4%
法人税等	1,640	-	1,856	-	-
少数株主利益	671	-	▲0	-	-
当期純利益	1,488	1.0%	2,188	1.3%	147.0%

【主なポイント】

(売上高) 商品別売上高(百万円)

- ・ハムソー 35,996 (前期比111.6%)
- ・加工食品他 65,008 (前期比109.1%)
- ・食肉 62,544 (前期比112.3%)

(売上総利益)

- ・原材料・仕入品比率 1.0%ダウン
- ・製造労経費比率 2.1%アップ
- ・売上高総利益率 ⇨ 1.1%悪化

(営業利益)

- ・販管費(人件費比率) 0.4%ダウン
- ・販管費(経費比率) 0.2%ダウン
- ・売上高販管費率 ⇨ 0.6%改善
- ・売上高営業利益率 ⇨ 0.5%悪化

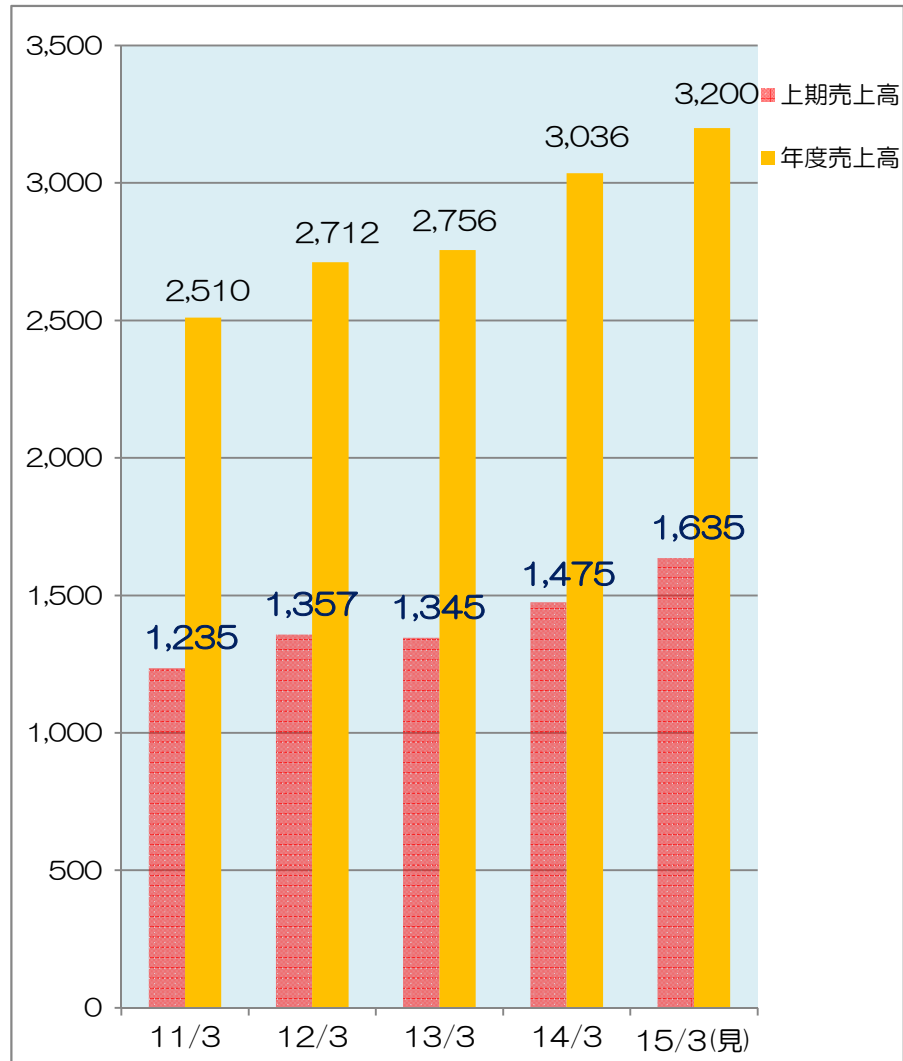
(特別損益)

- ・固定資産売却益245百万円計上。
- ・減損損失236百万円計上。

2.売上高と営業利益の推移

売上高

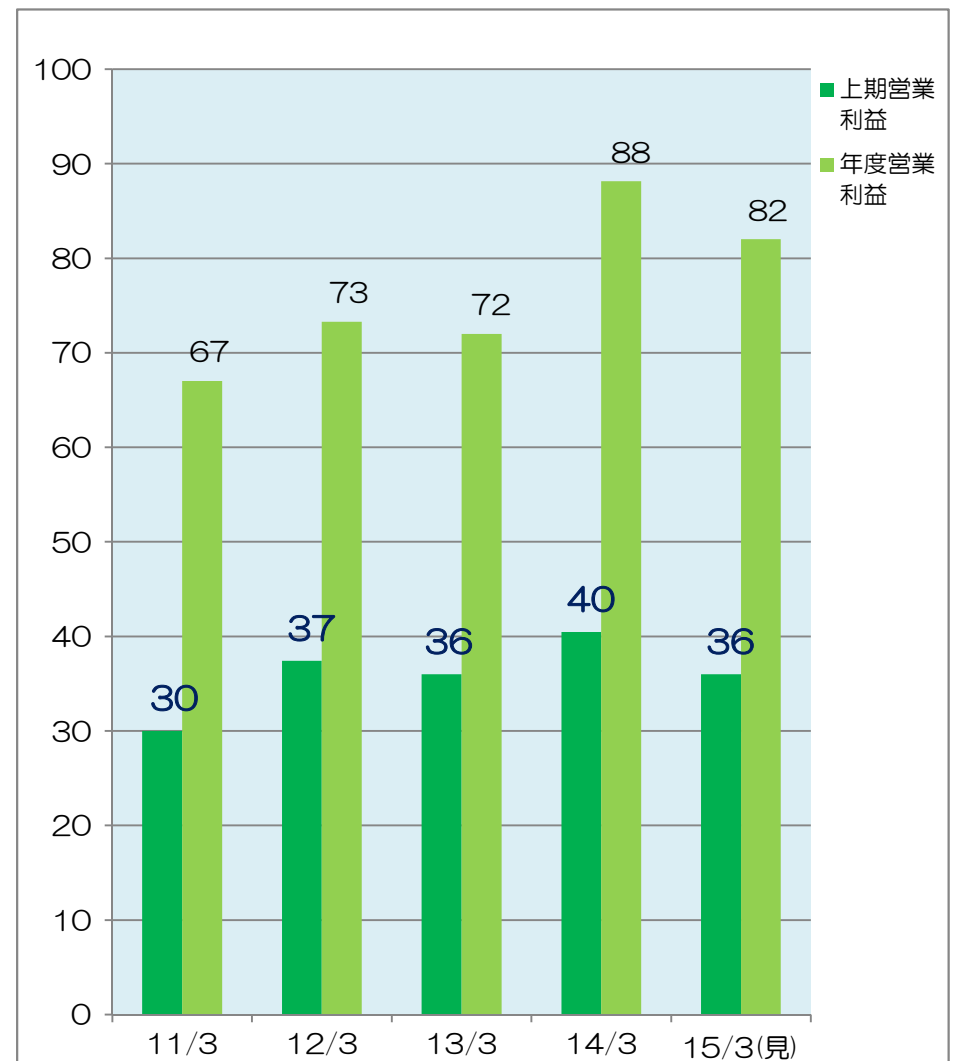
(億円)



(注) 1億円未満切り捨て、15/3の年度は見込み

営業利益

(億円)



(注) 1億円未満切り捨て、15/3の年度は見込み

3.2015年3月期 加工食品事業本部の上半期の状況

事業環境

- 消費税増税後の個人消費の停滞（首都圏と地方格差）
- 円安→輸入商品・原材料・包装資材等の高騰
- コスト増に対する食品価格改定
- 雇用環境の変化（賃金上昇、人手不足）
- 夏季の天候不順

施 策




○重点商品を中心に販売活動を集中

○販売促進策の展開強化

○省人化推進と数量拡大

○CVS向け商品の商品開発力の強化と生産基盤拡充

成 果

- ・重点商品の販売構成比73%超
 - ・商品規格数約17%減（2011年度比）
 - ・新規取引、取引の拡大
 - ・スペシャルプレゼントキャンペーン
スペシャルナイト（TDS10月3日貸切） ご招待
 - ・TDLダイヤモンドホースシュー
プライベートキャンペーン
 - ・本体4工場の「人時生産性」向上
 - ・自社商品開発力に注力
 - ・新工場（新居浜、豊田第二）の稼働
- 
 ハムソー販売数量
 前期比110%
 加工食品販売数量
 前期比109%
- 
 前期比
 17%アップ
- 
 売上拡大
 前期比104%

3.2015年3月期 加工食品事業本部の上半期の状況2

損 益

(百万円)

	2014年3月期	2015年3月期	前期比
売上高	97,891	109,872	112.2%
営業利益	4,107	3,002	73.1%
売上高営業利益率	4.2%	2.7%	



☆販売数量 前年同期比130%超

収益の増減要因

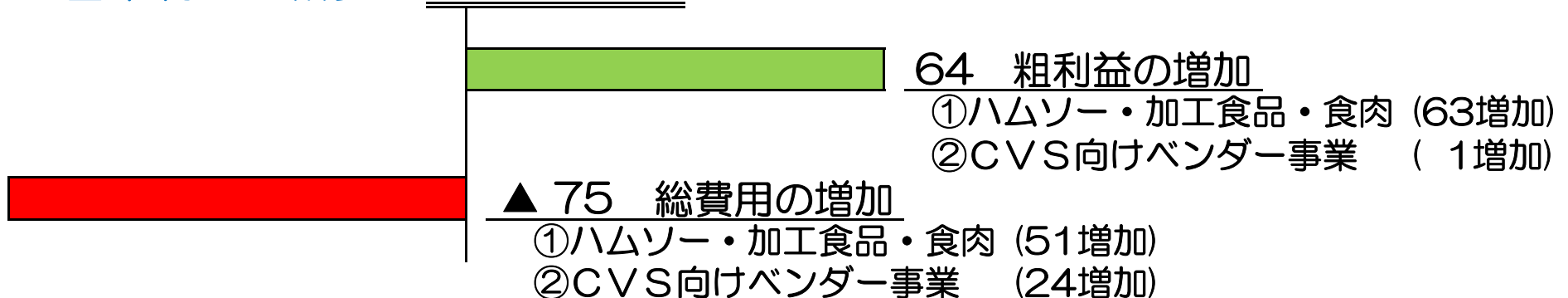
★売上高の増加

120 億円



★営業利益の減少

▲ 11 億円



4.2015年3月期 食肉事業本部の状況

事業環境

- 消費税増税後の個人消費の停滞（首都圏と地方格差）
- 食肉の海外現地相場高
- 国産食肉相場の高値推移
- 国産・輸入ともに供給不足
- PED（豚流行性下痢）の発生
- 店頭食肉売価の上昇



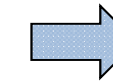
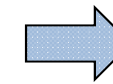
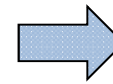
輸入ポークオリジナルブランド

施 策

- 国産豚肉の拡販
- 輸入豚肉の拡販
- 粗利益の改善

成

- ・国産豚肉販売数量
- ・国産豚肉粗利益
- ・輸入豚肉販売数量
- ・輸入豚肉粗利益
- ・畜種全体粗利益



果

前期比103%
前期比134%

前期比109%
前期比140%

前期比128%

4.2015年3月期 食肉事業本部の上半期の状況2



輸入ポークオリジナルブランド

損 益		(百万円)	
	2014年3月期	2015年3月期	前期比
売上高	49,493	53,548	108.2%
営業利益	▲ 53	720	-
売上高営業利益率	-	1.3%	

収益の増減要因

★売上高の増加

40 億円

販売単価アップ

71 豚肉(40)、牛肉(28)、鶏肉(3)

販売数量の増減

▲ 31 豚肉(13)、牛肉(▲41)、鶏肉(▲3)

★営業利益の増加

8 億円

9 粗利益の増加 売価アップによる粗利益単価の改善
豚肉(8)、牛肉(1)

▲ 1 総費用の増加

5.2014年9月末 連結貸借対照表

(百万円)

	2014年3月期末	2014年9月末	増 減
流動資産	51,814	57,728	5,914
固定資産	67,447	75,682	8,235
総 資 産	119,261	133,411	14,150
流動負債	50,275	58,744	8,469
固定負債	21,678	24,619	2,941
負債合計	71,953	83,363	11,410
株主資本	36,178	38,349	2,171
その他の包括利益 累計額	3,908	4,507	599
少数株主持分	7,220	7,190	▲ 30
純資産合計	47,307	50,047	2,740
負債純資産合計	119,261	133,411	14,150

【流動資産】

- 棚卸資産の増加 51億15百万円
- 売掛金の増加 39億50百万円

【固定資産】

- 有形固定資産の増加 50億18百万円
(建物・構築物:35億18百万円、リース資産:13億円など)
- 退職給付に係わる資産の増加 26億99百万円

【負債合計】

- 仕入債務の増加 79億38百万円
- リース債務の増加 13億95百万円

【純資産合計】

- 利益剰余金の増加 22億28百万円

6.2015年3月期 上半期キャッシュ・フロー、各種経営指標

【連結キャッシュ・フロー計算書】

(百万円)

	2014年3月期	2014年9月期	増	減
営業活動キャッシュ・フロー	2,816	3,090		274
投資活動キャッシュ・フロー	▲ 4,391	▲ 6,120	▲ 1,729	
財務活動キャッシュ・フロー	▲ 1,374	▲ 591		783
現金及び現金同等物の期末残高	5,603	4,658	▲ 945	



【営業活動キャッシュ・フロー】

- ・税金等調整前四半期純利益の計上
40億44百万円
- ・減価償却費の計上
26億58百万円

【投資活動キャッシュ・フロー】

- ・有形固定資産の取得
▲62億14百万円
- ・有形固定資産の売却
3億81百万円

【財務活動キャッシュ・フロー】

- ・長期借入金の増加
15億00百万円
- ・長期借入金の減少
▲11億35百万円

【各種経営指標】

(百万円、%、倍)

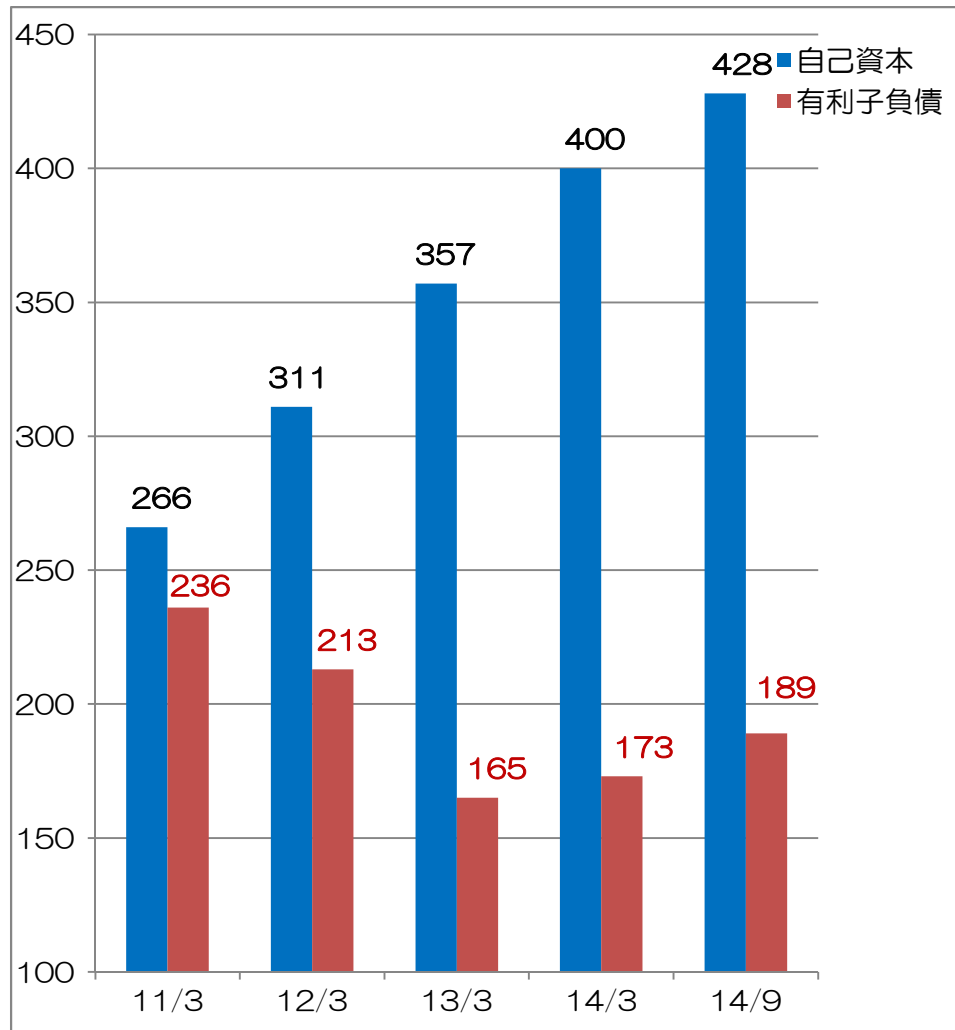
	2014年3月期末	2014年9月末	増	減
自己資本	40,086	42,856		2,770
自己資本比率	33.6	32.1	▲ 1.5	
有利子負債	17,316	18,937		1,621
負債資本倍率	0.43	0.44		0.01

*純資産合計から少数株主持分を除いたものを自己資本としています。

7.自己資本・有利子負債と自己資本比率の推移

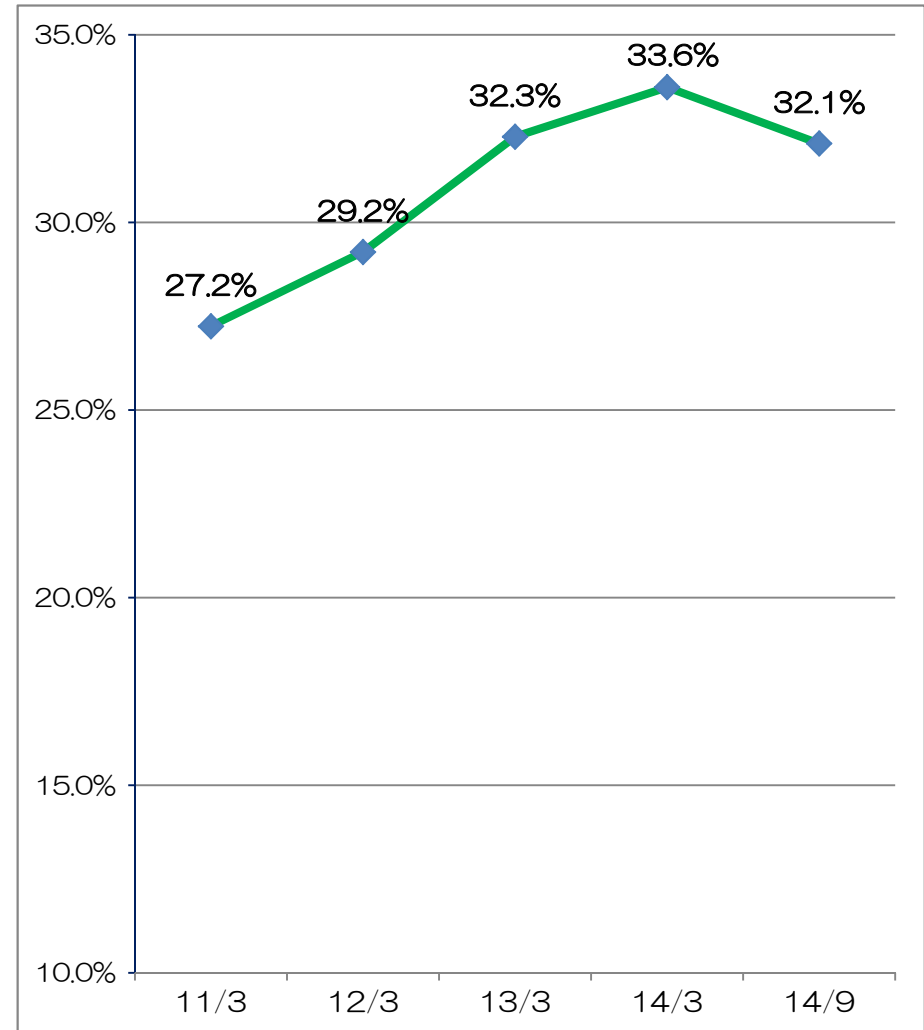
自己資本と有利子負債

(億円)



(注) 1 億円未満切り捨て

自己資本比率



2015年3月期 業績見通し

1.2015年3月期 加工食品事業本部の下半期の取組み

〈事業の現況・課題〉

●原材料価格の高騰と消費停滞



●歳暮ギフト拡大と第4四半期収益確保



〈施策・対応〉

- 主力商品を中心に販売活動を集中し、取扱店舗、売場展開の拡大を推進
 - 積極的な提案営業により業務用商品の売上拡大
 - コストダウンと効率化の継続
 - 人時生産性のさらなる向上
 - CVS向けベンダー事業の製造コスト改善
-
- 歳暮ギフトは「匠逸品・匠の膳シリーズ」「こだわり逸品シリーズ」の更なる充実で品揃え強化、前期比105%以上を目指す
 - シーズン需要（秋～冬）の「鍋商材」等の売上拡大
 - キャンペーンの展開
 - TVCM（香薫ウイナー）の関東地区を含む全国での放映

2.2015年3月期 食肉事業本部の下半期の取組み

〈事業の現況・課題〉

- 食肉相場の高値継続
- 差別化商品（オリジナルブランド）による収益性改善
- 海外食肉価格の高値継続と日本の買い負けによる調達コスト上昇



建設中の鹿児島食肉加工場

- 疾病問題による食肉調達国リスク

〈施策・対応〉

- 販売チャネル構成の是正（小売偏重からの脱却）と売価アップ
- 販売契約のリスクのミニマイズ（期間の明確化、数量の確約）
- 差別化商品構成比の引き上げ
- 新たな商品の開発（国内、海外）
- 輸入牛肉現地加工商品の開発
- 輸入牛肉の先物商談、早期提案営業の実施による得意先取り込み
- 国産養豚事業のさらなる拡大
- 輸入豚肉の優位性のある部位の提案営業
- 国内食肉加工場の立ち上げと安定稼働
- 食肉調達国のリスク分散
- 国内調達エリア分散

3.2015年3月期 年度業績見通し

【連結損益】

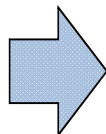
						(百万円)	
				2014年3月期	2015年3月期	前期比	年度計画
売 営 経 当	上 業 常 期	利 純 利	高 益 益 益	303,600	320,000	105.4%	307,000
				8,813	8,200	93.0%	8,200
				9,298	8,600	92.5%	8,600
				4,192	4,200	100.2%	4,000
(上下期別)						(百万円)	
				上半期(実績)	下半期(見通)		下半期(前期)
売 営 経 当	上 業 常 期	利 純 利	高 益 益 益	163,549	156,000		156,064
				3,676	4,500		4,766
				4,064	4,500		4,831
				2,188	2,000		2,704

【セグメント別損益】

				(百万円)
		2014年3月期	2015年3月期	前期比
売 上 高	加工食品事業本部	201,591	217,000	107.6%
	食肉事業本部	101,677	102,700	101.0%
	その他	332	300	90.4%
営 業 利 益	加工食品事業本部	8,270	7,100	85.9%
	食肉事業本部	504	1,100	218.3%
	その他	▲ 6	0	-

4.成長戦略

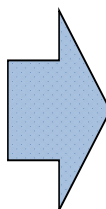
流通サイドへの付加価値を加えたサービスの提供・販売



プロセスセンターの拡大

- ①加工食品事業本部
 - 中部プロセスセンター新設（2014年7月稼動）
- ②食肉事業本部
 - (株)かみふらの工房の増築(2014年3月稼動)
 - 鹿児島食肉加工場(2015年3月完成予定)

伊藤忠グループ内の連携・協業の推進



伊藤忠飼料(株)との業務提携の推進

相互業務内容の連携による営業・顧客戦略の共有(協業機会の創出)

海外におけるハムソー・加食事業の展開

- ①国産豚肉、国産鶏肉について取引拡大
 - ②SPF豚母豚の導入効果の検証と更なる拡大
- ①日本アクセス(株)の販路活用
 - ドラッグストアチャンネルへの新規・深耕開拓
 - 量販店の市販冷食やチルド日配部門への取り組み活性化
 - ①中国における合併事業
 - 康普(蘇州)食品有限公司の工場稼動
 - 中国国内向け販売開始
 - ②プリマハム(タイ)
 - 現地量販店でのハム・ソーセージ販売開始
 - 第三国への輸出版売商談

プリマハムとラグーナテンボスが公式スポンサー契約を締結

今回の契約により「ラグーナテンボス」の海のテーマパーク「ラグナシア」にて11月14日からスタート予定のウォーターマッピングショー「AGUA（アグア）」の後に当社のCM放映およびブランド名の広告が実施されます。
この他にもフェスティバルマーケットの外壁にオフィシャルスポンサーとしてロゴ看板を掲出する予定です。



ご 参 考 資 料

連結損益計算書の推移

【連結損益計算書】

(百万円)

		2013年3月期			2014年3月期			2015年3月期				
セグメント		上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期実績	通期実績	1Q	2Q	上期実績	下期見込	通期見込
売上高	加工食品事業本部	96,017	99,380	195,397	97,891	103,700	201,591	52,351	57,521	109,872	107,000	217,000
	食肉事業本部	38,351	41,563	79,914	49,493	52,184	101,677	25,824	27,724	53,548	49,000	102,700
	その他事業	157	179	336	151	181	332	56	72	128	170	300
合 計		134,526	141,121	275,647	147,536	156,064	303,600	78,232	85,317	163,549	156,000	320,000
売上原価		111,916	118,140	230,056	124,437	131,732	256,169	66,701	73,023	139,724		
売上総利益		22,610	22,981	45,591	23,099	24,332	47,431	11,531	12,293	23,824		
販売費及び一般管理費		18,954	19,377	38,331	19,051	19,567	38,618	9,789	10,359	20,148		
営業利益		3,655	3,604	7,259	4,047	4,766	8,813	1,742	1,934	3,676	4,500	8,200
営業外損益		388	275	663	420	65	485	268	120	388		
経常利益		4,044	3,879	7,923	4,467	4,831	9,298	2,010	2,054	4,064	4,500	8,600
特別損益		398	▲ 414	▲ 16	▲ 667	163	▲ 504	197	▲ 217	▲ 20		
税金等調整前当期純利益		4,442	3,464	7,906	3,799	4,995	8,794	2,207	1,837	4,044		
当期純利益		2,318	2,041	4,359	1,488	2,704	4,192	1,055	1,133	2,188	2,000	4,200

（ご参照）商品別の売上高

(百万円)

		2013年3月期			2014年3月期			2015年3月期				
商品別		上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期実績	通期実績			上期実績	下期見込	通期見込
売上高	ハムソー	30,691	30,635	61,326	32,264	33,146	65,410			35,996	34,000	70,000
	加工食品他	54,526	61,126	115,652	59,560	65,306	124,866			65,008	65,000	130,000
	食 肉	49,307	49,362	98,669	55,712	57,610	113,322			62,544	57,000	120,000
	合 計	134,526	141,121	275,647	147,536	156,064	303,600			163,549	156,000	320,000

連結貸借対照表の推移

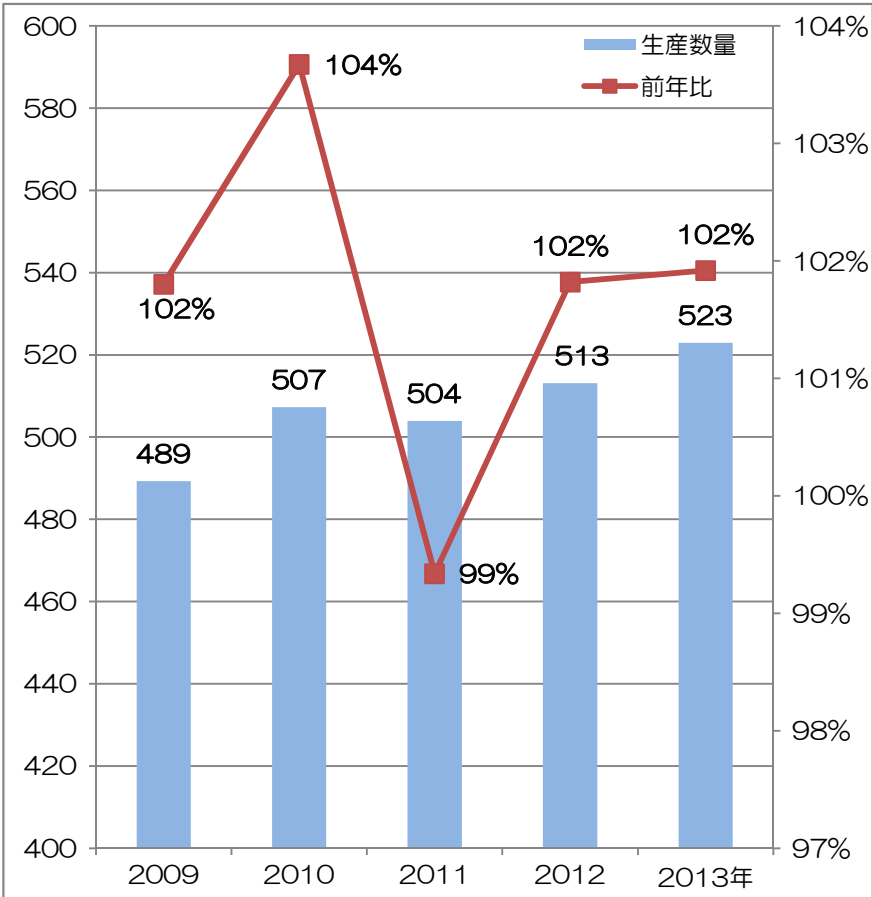
【連結貸借対照表】

(百万円)

	2012年3月期		2013年3月期		2014年3月期	
	上期末実績	年度末実績	上期末実績	年度末実績	上期末実績	年度末実績
流動資産	51,571	52,693	52,443	53,352	51,832	51,814
固定資産	51,189	53,781	54,806	57,285	60,033	67,447
総資産	102,760	106,475	107,250	110,637	111,865	119,261
流動負債	48,868	49,031	48,490	49,677	49,511	50,275
固定負債	19,959	20,836	20,037	18,708	18,336	21,678
負債合計	68,828	69,867	68,527	68,386	67,848	71,953
株主資本	26,334	28,255	30,199	32,330	33,375	36,178
その他の包括利益 累計額	2,346	2,890	2,622	3,405	3,523	3,908
少数株主持分	5,251	5,461	5,901	6,515	7,118	7,220
純資産合計	33,931	36,607	38,722	42,251	44,017	47,307
負債純資産合計	102,760	106,475	107,250	110,637	111,865	119,261
自己資本	28,680	31,146	32,821	35,736	36,899	40,086
自己資本比率 (%)	27.9	29.3	30.6	32.3	33.0	33.6

業界動向の資料

(1) ハム・ソーセージ生産数量(国内)の推移 (千トン)



2014年(1-9月)の内訳 (t)

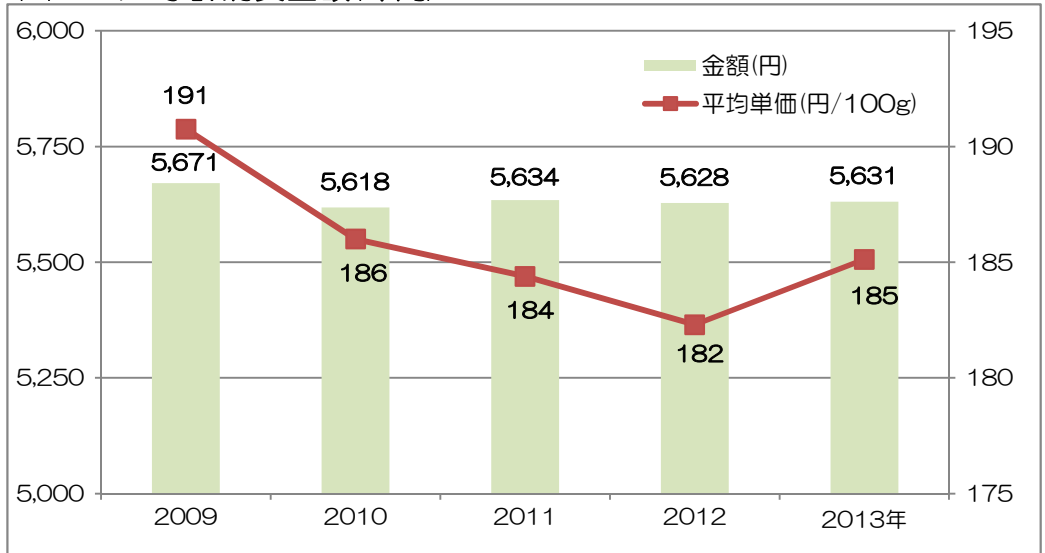
	生産数量	前年同期比
ソーセージ	230,219	102.9%
ハム	75,765	99.0%
ベーコン	63,734	99.9%
プレスハム	22,999	107.0%
合計	392,715	101.9%

(備考) 日本ハム・ソーセージ工業協同組合による

(2) ソーセージの家計消費金額(年間)



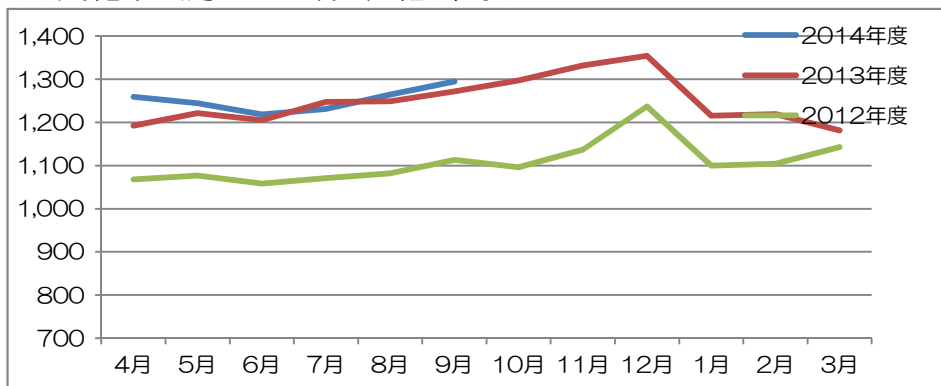
(3) ハムの家計消費金額(年間)



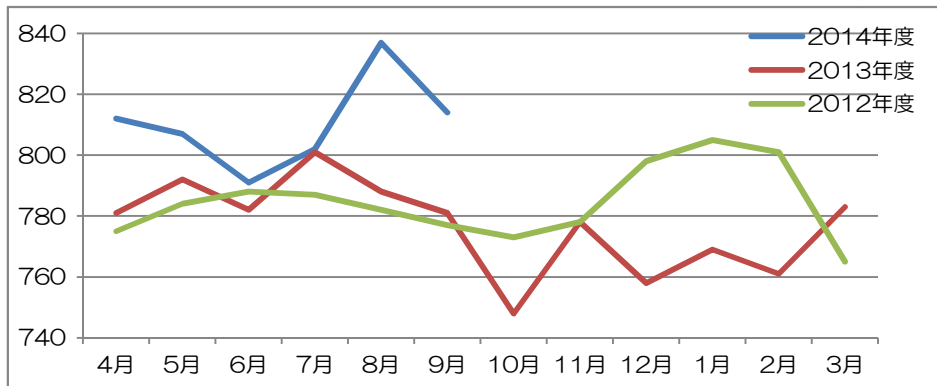
総務省統計局 家計調査報告(全国・二人以上の世帯1世帯あたり)

業界動向の資料

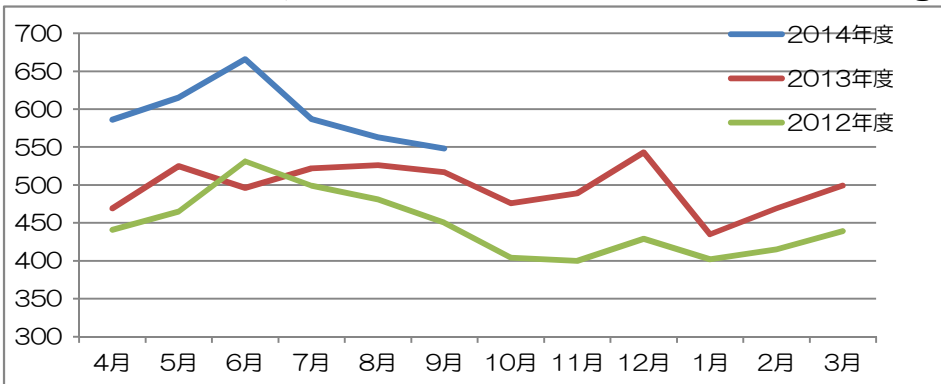
(1) 交雑牛去勢B3の卸売価格(東京) (枝肉ベース、単位:円/Kg)



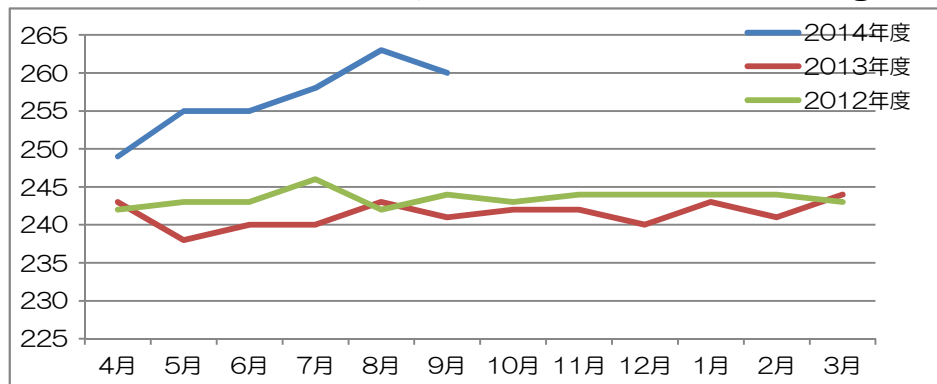
牛肉ロース(国産)の小売価格(東京) (単位:円/100g)



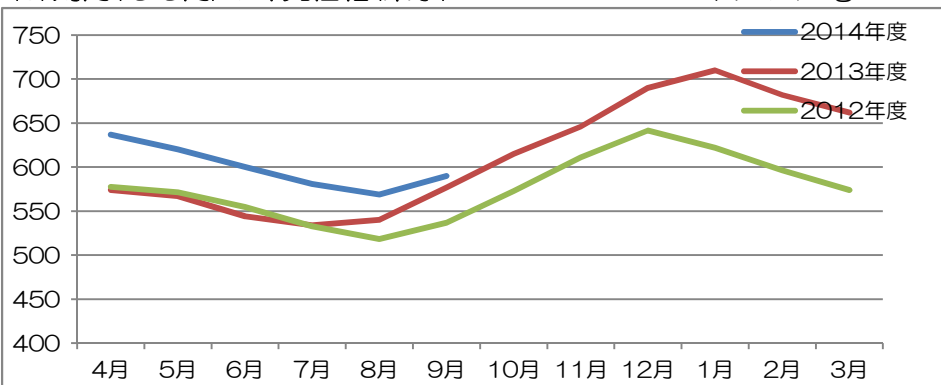
(2) 豚肉の卸売価格(東京・省令) (枝肉ベース、単位:円/Kg)



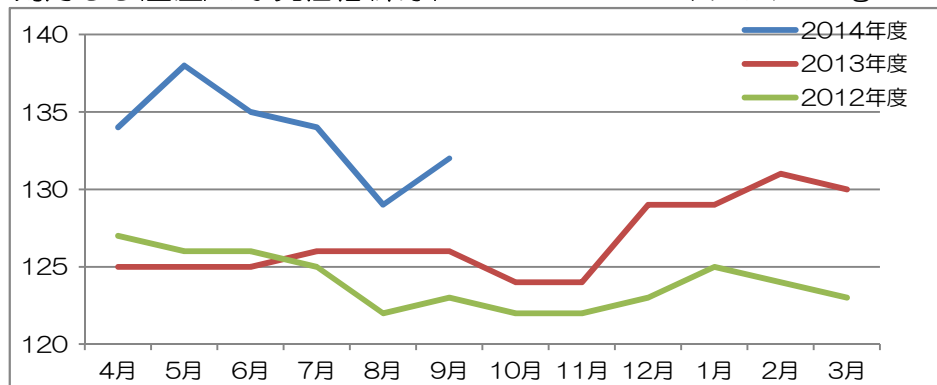
豚肉ロース(国産)の小売価格(東京) (単位:円/100g)



(3) 鶏肉(もも肉)の卸売価格(東京) (単位:円/Kg)



鶏肉もも(国産)の小売価格(東京) (単位:円/100g)



農林水産省(食肉流通統計)

総務省(小売物価統計調査報告)

Profile

(2014年9月30日現在)

■ 会社概要

本 社 東京都品川区東品川4丁目12番2号
品川シーサイドウエストタワー

代 表 者 代表取締役社長 松井 鉄也

事 業 内 容 ハム・ソーセージ、食肉および
加工食品の製造・販売

設 立 1948年7月9日

資 本 金 33億6300万円

決 算 期 3月31日

従 業 員 数 2,079名(43名減)

事 業 所 (注) 営業拠点 6支店 26営業所
生産拠点 4工場

グループ会社 (注) 31社
連結子会社 28社
持分法適用関連会社 3社

企業集団従業員数 13,414名(1,317名増)

グループ拠点 生産拠点 21工場 (国内)
5拠点 (海外)

(備 考)

1.増減は前年度末(2014年3月31日現在)との比較

■ 会社のあゆみ

1931年9月 金沢市に竹岸ハム商会を開設

1948年7月 高岡市に竹岸畜産工業株式会社を設立

1962年8月 東京、大阪両証券取引所第一部に上場

1965年5月 社名をプリマハム株式会社に変更

1984年3月 東京ディズニーランド公認スポンサーとして参加

2004年4月 三重工場「ISO14001」認証取得

2005年3月 プロ野球「東北楽天ゴールデンイーグルス」
オフィシャルシルバースポンサーとして参加

2005年4月 本社、他生産工場「ISO14001」認証取得

2007年5月 全国4工場(ハム・ソーセージ)「ISO22000」
認証取得

2008年7月 加工食品製造工場、物流部門「ISO22000」
認証取得(計26事業所で認証取得)

2010年4月 プロ野球「東北楽天ゴールデンイーグルス」
オフィシャルゴールドスポンサーとして参加

2011年9月 創業80周年を迎える

2014年11月 ラグーナテンボスと公式スポンサー契約を締結

企業集団の状況

(2014年10月31日現在)

＜食肉事業本部＞

種豚・肉豚生産肥育(1社)
連結子会社
太平洋ブリーディング(株)
海外事業(1社)
持分法適用関連会社
Swine Genetics International,Ltd.

＜食肉事業本部＞

食肉の処理加工(3社)
連結子会社
(株)かみらの工房 西日本ベストパッカー(株)
茨城ベストパッカー(株)
物流(1社)
連結子会社
プリマロジスティックス(株)

＜加工食品事業本部＞

加工食品の製造販売(6社)
連結子会社
プリマ食品(株) 四国フーズ(株)
秋田プリマ食品(株) 熊本プリマ(株)
プライムフーズ(株) プリマルーク(株)
清掃等サービス(1社)
連結子会社
プリマ環境サービス(株)

＜加工食品事業本部＞

海外事業(2社)
連結子会社
PRIMAHAM(THAILAND) Co.,Ltd.
山東美好食品有限公司

＜その他＞

その他の事業(4社)
連結子会社
プリマシステム開発(株)
(株)つくば食品評価センター
プライムテック(株)
プリマ・マネジメント・サービス(株)

関連当事者(1社)

(その他の関係会社)
伊藤忠商事(株)

当 食 肉 加 工 食 品 等 の 製 造 及 び 販 売 社

肉豚の販売

＜食肉事業本部＞

販売会社(2社)
連結子会社
関東プリマミート販売(株)
関西プリマミート販売(株)

＜加工食品事業本部＞

販売会社(6社)
連結子会社
北海道プリマハム(株) プリマハム近畿販売(株)
北陸プリマハム(株) (株)エッセンハウス
佐賀プリマ販売(株) 東栄フーズ(株)

＜加工食品事業本部＞

加工食品の製造販売(2社)
連結子会社
プライムデリカ(株)
持分法適用関連会社
(株)プライムベーカーリー

＜加工食品事業本部＞

海外事業(2社)
連結子会社
Prime Deli Corp.
持分法適用関連会社
康普(蘇州)食品有限公司

情報処理業務等の販売
食品の理化学検査業務の販売
理化学機器の販売

お 得 意 先

おいしさ、ふれあい

お客様との絆を大切に、食の「おいしさ」、人との「ふれあい」を通じて楽しく豊かな食の未来を創造する。

経営理念 —プリマの原点—

- 一、正直で基本に忠実
- 一、商品と品質はプリマの命
- 一、絶えざる革新でお客様に貢献

経営ビジョン

1. 一人一人が想像力、提案力とスピーディーな行動力を発揮し
2. 卓越した商品開発力と技術力を結集して
総合力でお客様に安全でおいしい食品と関連情報を提供し
健康で豊かな食生活に貢献する。
3. 果敢に自己変革して収益力のある総合食品企業に脱皮する。

注 意 事 項

本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断や仮定のものであり、リスクおよび不確実性が含まれております。従って実際の業績等は、予想数値と異なる結果となる場合があります。

お問合せ先

プリマハム株式会社 総務・広報部

TEL. 03-6386-1800

FAX. 03-5462-1701

ホームページアドレス <http://www.primaham.co.jp/>